



市川市立高谷中学校 学校だより 5月号

輝く若木



学校 HP

令和5年5月1日



高谷中のみなさんへ

新年度始動！目標をもって取り組もう！

早いものでもう五月。1学年昇降口の燕つばめの巣も、新居の準備が着々と進んでいるようです。(頭上に注意してくださいね。)燕の巣は人間にとって「幸運の象徴」と言われています。皆さんが幸せな気持ちを抱き、「希望の登校、満足の下校」を実現できるよう、願っています。

さて、4月26日(水)から正式時間割が始まり、新年度の学習も、徐々に本格的なものになってきました。また、部活動では、1年生の本入部が始まり、上級生が新入生につきっきりで教えながら、自らの練習にも励む姿が見られるようになりました。この、新しい生活の中で、今、皆さんに必要なことは、しっかりと自分の目標をもつことです。日々の忙しさに紛れてしまうことなく、どんなに小さなことでもいいので、なりたい自分を思い描き、そこに一歩でも近づくことができるような目標を立てるのです。可能なら、その目標は、普段目にするところに掲示してほしいですね。そして、迷ったり、悩んだりした時に立ち返ることのできる拠より所どころとしてほしいと思います。「初心忘るべからず」の「初心」を、「目標」として形に残すこと。それが、この時期の皆さんには必要なことだと思います。

早速今日、生活ノートや勉強机の前などに目標を掲げてみてくださいね。

保護者の皆様へ

新しい年度が始まって1か月が経ちました。お子様の様子はいかがでしょう。1、2年生の中には新しい環境にまだまだ緊張しているお子様もいるのではないのでしょうか。また、3年生の中にはそろそろ進路を意識し始めているお子様もいるかもしれません。

そのような生活の変化に加え、この頃の気温の変化も合わさり、5月は体調を崩しやすい月だと言われています。特に、自律神経の乱れなどは自覚しにくく、何となく体調が優れない、という症状を生み出してしまいます。そのように体調を崩してしまわないように、特にこの時期は、睡眠や食事に気を付けていただけたらと思います。お子様と最近の様子について会話をさせていただき、もし、疲れがたまる、などの訴えがあった場合には、朝ご飯はきちんと食べられているか、夜更かしはしていないか等、確認していただきますよう、お願いいたします。

5月の予定

- 2日(火)水1234火5水5
3年全国学力・学習状況調査英語「話すこと」調査
- 10日(水)オープンスクール(~12日)、尿検査
- 12日(金)あすチャレ!(1年)
- 16日(火)専門委員会、尿検査予備日
- 17日(水)内科検診(1年、2-3、4、ゆめ)、職員会議
- 18日(木)SF放課後練習開始
SF学年練習(1年:1、2校時、2年ゆめ:3、4校時)
- 19日(金)1年心音心電図検査、
SF学年練習(3年:1、2校時、2年ゆめ:3、4校時)
- 22日(月)弁当日課、教育実習開始(~6/9)
SF学年練習(2年ゆめ:1、2校時、1年:3、4校時、3年:5、6校時)
- 23日(火)SF学年練習(1年:1、2校時、3年:3、4校時)、SF全体練習(5校時)
- 24日(水)SF予行練習
- 25日(木)SF予行予備日、SF学年練習(1年:2校時、3年:3校時、2年ゆめ:4校時)
- 27日(土)スポーツフェスティバル(雨天は28日に実施。28日雨天の場合は水曜日課となり31日に実施。)
- 29日(月)振替休日



【写真】茶道部の活動の様子
後輩たちに見守られながら、
お点前を披露する先輩たち

運動部活動に参加されている方への連絡 総合体育大会の参加について

保護者の皆様には、日頃より本校の部活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

千葉県中学校総合体育大会は、一人1競技1団体からの出場に限られております。このことを受け、4月26日(水)に、大会参加に関する申告書を配付させていただきました。内容をご確認の上、参加区分(高谷中学校部活動または地域クラブ活動)についてご提出をお願いいたします。なお、本文書は、千葉県小中体育連盟の方針に従い、全生徒に配付しておりますので、ご了承ください。

学校図書館長おすすめ

これ、読んでみて



『銀河鉄道の父』

門井 慶喜 著/講談社文庫

おうちの人と
お子さんで



生徒の皆さんは、「宮沢賢治の作品」と聞いて、どの作品を思い浮かべますか。1年生の皆さんは、小学校5年生の時に、国語の時間に学習した『雪わたり』を思い浮かべるかもしれません。2、3年生の皆さんは、1年生の時に『オツベルと象』を読んだと思います。それらの学習を通し、また、他の作品を読んで、皆さんは宮沢賢治という作家にどのようなイメージをもったでしょうか。

この小説は、題に「父」とあるように、宮沢賢治のお父さんである政次郎が主人公です。父から見た、つまり息子としての賢治は、いったいどのような人物だったのでしょか……。

知っている人も多いと思いますが、この小説の映画が5月に公開されます。小説を読むか、映画を観るか、はたまた両方堪能するか。読んだ、観た、という感想を聞かせていただけたら嬉しいです。